

さいがい
自然災害とともに生きる① (教科書 210~221 ページ) **解答**

氏名()

①日本ではどのような種類の自然災害が発生していますか。(教科書 210 ページ)

雪害	じしん 地震 (災害)
火山災害	風水害
つなみ 津波 (災害)	

②自然災害はどんな場所で多く起こっていますか。いずれかの自然災害を選んで、説明しましょう。(教科書 210 ページ)

(例) 地震は海底で起こることが多い。太平洋側で多く発生している。

③日本でさまざまな自然災害が起こるのはなぜだと思いますか。国土の気候や地形の特色と関連づけながら、それぞれの災害について考えましょう。(教科書 210~211 ページ)

- ・日本海側は冬の季節風のえいきょうで雪が多くふるので、雪害が発生する。
- ・台風や梅雨のえいきょうで、風水害が多く発生する。
- ・日本は海に囲まれた島国だから、津波が起こる。 など

④教科書 211 ページの資料ケから、どのようなことがわかりますか。

日本は世界の中でも自然災害の被害額が大きい。

⑤教科書 210 ページに出ている自然災害の中で、人におよぼす被害が最も大きかったのは、どの災害ですか。

自然災害名 東日本大震災 (東北地方太平洋沖地震・津波)	発生年月 2011 年 3 月 (平成 23)
死者・行方不明者 ゆくえ 22000 名以上	こわれたり浸水したりした家 しんすい 41 万戸以上

⑥大きな自然災害が発生すると、どのような被害が出ますか。(教科書 211 ページ)

- ・多くの人々の命がうばわれる。
- ・住む場所がなくなり、避難生活を送ることになる。
- ・広い地域で電気やガス、水道などが止まる。

など

⑦教科書 213 ページの資料オからは、どの自然災害が多く発生しているといえるでしょうか。上位3つを答えましょう。

① 台風	② 大雨	③ 地震
------	------	------

自然災害とともに生きる② (教科書 210~221 ページ) **解答** 氏名 ()

①自然災害からくらしを守るために、どのような対策が行われているでしょうか。表にまとめましょう。(教科書 214~221 ページ)

	発生している場所	発生と関係のある国土の 自然条件	自然災害への対策 (どこが、何をしているか)
津波	海の近く	海に囲まれている。	市町村が、避難タワーや避難ビルを設置したり、避難場所を知らせる標識やハザードマップをつくったりしている。 国や県が、大きな堤防(防潮堤)を建設したり、住宅地のかさ上げや高台への移転をしたりしている。
地震	どこでも	プレートの境界にある。	気象庁が中心となって、地震のゆれを感知する装置を各地に設置し、緊急地震速報のしくみを整えている。 国や市町村が、学校や新幹線の線路などを地震のゆれに強くしたり、電線を地中にうめる工事を行っている。
水害	川の近く	台風や梅雨で雨が多くふる。	国や県が、大きな川の流路や堤防、遊水地などを整備したり、大雨の時に川の水を地下に取りこむ放水路を建設している。
土砂災害	山の近く	山地が多い。雨が多い。	国や県が、土砂をせき止める砂防ダムを建設している。 国や県、市町村が、災害に備えた訓練を行っている。
雪害	日本海側	冬の季節風のえいきょうで雪が多くふる。	国や県が、重要な道路を除雪する体制を整えている。 県や市町村が、なだれを防止するさくを設置している。
火山災害	火山の近く	たくさんの火山がある。	気象庁が、全国の火山の様子を監視している。 国が、溶岩などを安全な方向に流す導流堤を建設している。

自然災害とともに生きる③ (教科書 210~221 ページ) 解答

氏名()

①国や県、市町村などが協力して行っている防災のための大規模な取り組みは、何とよばれていますか。(教科書 215 ページ)

公共事業

②「減災」とはどのような考え方ですか。(教科書 220 ページ)

自然災害が発生しても、被害をできるだけ減らせるように、防災への意識を日ごろから高めること。

③それぞれの自然災害への対策にはどのような共通点がありますか。「自然災害とともに生きる②」のワークシートで作った表を見ながら考えましょう。

【どこがしているかについて】

- ・大規模な整備や多くの費用がかかる対策は、国や県が行っている。
- ・国や県、市町村が協力して行っている対策が多い。

など

【何をしているかについて】

- ・堤防、放水路、砂防ダムなどの防災設備をつくって、人々がくらす場所に被害が広がらないようにしている。
- ・ハザードマップや緊急地震速報で、危険を知らせてすばやい避難につなげようとしている。

など

④公共事業の取り組みだけで、自然災害による被害を防ぐことができるでしょうか。あなたの考えとその理由を書きましょう。

(例) 自然災害はいつどこで起こるかわからないから、どれだけ公共事業を行っても、完全に被害をなくすことはできないと思う。

⑤教科書 219 ページの資料④のように、被災地の人々が、被害の様子を残しているのはなぜだと思いますか。

(例) 自然災害から命やくらしを守るためには、これまでの被害の歴史から住民一人一人が学ぶことが大切だから。
(例) 自然災害のおそろしさを後の世代に伝えて、二度と同じような被害にあわないようにするため。

⑥下のそれぞれの意見に続く言葉を考えてみましょう。(教科書 220・221 ページ)

大きな自然災害への対策は、国や県が中心となって進めている。わたしたちのくらしにとって、

自分の考えを書きましょう

日本に住むかぎり、自然災害にあうおそれがある。だから、わたしたち一人一人

が、
自分の考えを書きましょう